



Walk with Children

めぐろ
大森東
大森

めぐろ

せいび

219号

2026年1月

サレジアン国際学園目黒星美小学校

主ご自身があなたに先立って行き、あなたと共におられる。

主はあなたを置き去りにすることも、見捨てる事もない。恐れではならない。

おののいてはならない。

(申命記 31:8)

校長 シスター 小島 理恵

新年、あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

新しい年、2026年が始まりました。今年はどんな年になるのでしょうか。私たちにとって、「これから先、何が起こるのか分からぬ、明日はどうなっているのだろう」と考える時、わくわく感より不安感の方が何倍も多いのではないでしょうか。実際、1分先のこと、私たちには未知の世界です。しかし、冒頭の申命記にあるように、神様は私たちと共におられ、先を歩んでおられます。ですから神様にすべてを委ねて生活していくことが大切なでしょう。

カトリック教会の暦では、この1月、“サレジアン”にかかるお祝いが続きます。24日はドン・ボスコが自身の修道会名とした聖フランシスコ・サレジオを、そして31日は聖ドン・ボスコを祝う日と定めています。また、22日はサレジアンシスターズの学校で学び、福者(聖人の一步手前)であるラウラ・ヴィクーニャを記念する日もあります。私たちの学校の創立者ドン・ボスコは少年たちに、「聖人になることは難しい事ではないんだよ」と教えていました。そして3つのキーワードを示しています。「喜び」「勉強」「祈り」です。これらは意識していれば毎日実行に移せるものです。子ども達が、神様に喜ばれる子どもとして今年も大きく成長できるよう、支えて参りたいと思います。

ラウラ・ヴィクーニャのお祝い・ドン・ボスコのお祝い

5年学年主任

ラウラ・ヴィクーニャは、他者のために当たり前のことも丁寧に心を込めて取り組む女の子でした。そんな善の心をみんなが持ち、明るい世界を切り開いていくためには、どんな努力が必要か考える機会となりました。神様に心を向け、清い心で過ごしていくように祈り続けていきます。

1月30日のドン・ボスコのお祝いでは、愛する喜び、そして、愛される喜びをみんなで分かち合います。集いの中では、5年生が宗教劇「走れメロス」を通して、あきらめないこと、友を感じることの大切さを伝えていきます。

ドン・ボスコが青少年を大切にして最後まであきらめずに過ごしたように、私たちも仲間を信じ、助け合うことができる関係づくりをこれからも大切にしていきたいです。

クリスマス助け合い運動

児童会

困っている方々のために何をしたらいいか、自分たちに何ができるか考え、全校で協力して今年もクリスマス助け合い運動を行うことができました。学校でお預かりした献品は児童会の児童と一緒に梱包し手紙をつけて、みなさんの気持ちとともに大切にお届けいたしました。たくさんのご協力、本当にありがとうございました。

温かい心とともに

今年も私達児童会では、日々の生活に困っている方々や災害にあわれた方々のために、クリスマス助け合い運動を行いました。活動の最初は、どのくらい献品が集まるのか少し不安でしたが、始まってみるとたくさんの献品が集まり、感謝の気持ちとともに、ご協力いただいた方々の温かさを感じることができました。また、私自身クリスマス助け合い運動を通して、困っている方々のために自分にもできることがあるということがわかり、この活動の大切さや意味を改めて考えることができました。困っている方々のもとに、私達の想いと一緒にたくさん献品が届き、少しでも心安らぐクリスマスや年末年始をむかえられるようお祈りいたします。

5年



委員会

環境委員会

生活環境をより良くすることを目標として、どのような視点でどのような声掛けを行うことが良いのか、子どもとともに考えて活動しております。

1年間の環境委員会活動

6年

僕は、最初環境委員会に入りたいと思っていました。その後、入れたと聞いて嬉しかったです。

初めての環境委員会活動の時は緊張していて、とても不安だったけれど、6年生がポスターのかき方や水やりの仕方などをたくさん教えてくれたので、だんだんと委員会活動をしていくうちに緊張が解ってきました。

そして去年の6年生が卒業して僕達だけで委員会活動をしてきました。去年の6年生よりももっと良い環境委員会にするという気持ちで活動しました。エコキヤップ、鉛筆回収運動などの活動ができて良かったです。

僕達が5年生に教えたことをこれからも生かして一人ひとりが環境委員会の責任をもって頑張っていってほしいと思います。



健康委員会

学校のみんなが元気にすごせるように、手洗い場の環境整備をはじめ、ポスター作成を学年を超えたグループで相談しながら活動しています。

健康委員会として

6年

健康委員会では、「みんなが元気にすごせるように、心を込めて真剣に活動する。」という目標をかけ、日々活動しています。主な活動は、ハンカチやティッシュを持っているか。また爪を切っているかを月に一度確認する清潔検査や手洗い場のビオレのほじゅう、周りにとんだ水をふくための雑巾を置くなどがあります。私は、この委員会で副委員長を務めました。話し合いでたくさん意見が出た時や清潔検査など、仕事をスムーズにやることが出来た時は、とてもやりがいがあり、楽しかったです。

私は、この健康委員会に入って自分が成長できたと感じることが出来ました。今では、この委員会に入ってよかったですと感じています。

学校のみんなが元気にすごせるように、手洗い場の環境整備をはじめ、ポスター作成を学年を超えたグループで相談しながら活動しています。



宗教委員会

宗教委員会の児童は、神様の愛を学校全体に伝えようと活動しています。それぞれの得意を活かし、補い合う活動の中にも、イエス様はいらっしゃることをみんなで感じています。

宗教委員会の活動で思ったこと

6年

宗教委員会では、真心献金やカンボジアデーの呼びかけと、封筒配りをしたり、掲示されるみ言葉の絵を描いたり、宗教に関するポスターを作ったりしています。

今年は、夏の集いで、巨大な200ピースのパズルを作成しました。絵は、イエス様のシンボルや、聖書の話、サレジオ教会など皆が良く知っているものを描きました。沢山のピースを作るために線を引く作業が大変でしたが、当日は集いの前半でパズルが完成するほど皆に楽しんでもらうことができました。助け合って完成したこと、参加者に楽しんでもらえたことが嬉しかったです。

宗教委員会の活動は、何事も楽しく話し合って決めたり、実行したりすることができました。この経験をこれからも大切にして過ごしたいと思います。

生活委員会

生活委員会では、新たに5年生が加わったことで委員会全体が活気づいています。5年生は6年生の活動する姿を手本に、朝のあいさつ運動やポスター作りに意欲的に取り組み、学年を越えて互いに刺激し合う姿が見られました。6年生が引退した今も、これまでに培ってきた意欲や姿勢を大切にし、引き続き主体的に活動を継続していってほしいと願っています。

生活委員会

5年

私は、生活委員会に入りたての頃、どのような活動をするのかよくわからっていました。しかし、最初の委員会活動が終わった後に、朝活をしてみると、どのように6年生が活動していたのかということが理解できました。

12月までは、6年生と共に朝活やポスターづくりなどをやってきました。6年生と委員会活動をしていた時には、ポスターのかき方や朝活での声の出し方、身だしなみについてなど色々なことを教えてくださいました。

これからは、6年生から学んだことを生かして生活委員としてがんばっていきたいです。そして、5年生のみんなで新しく考えた企画をして、生活委員会が学校全体のために出来ることを行っていこうと思います。

